

技術資料

でじろーくん周辺機器

1. 適用

型式：LC1M-A1-※※00-※

2. データの書き出し

(1) MicroSD

次の機能を使用するためには、microSD を本体右側面に差し込みください。

- ・ 直近1日分の収集データを、年月別フォルダへCSVファイルに書き出し
- ・ 本体スイッチ手動操作で収集データを、CSVファイルに書き出し
- ・ 収集データから演算したトレンド日報、品質日報、および品質週報を、年月別フォルダへ帳票としてPDFファイルに書き出し【オプション指定】

3. 電源回路の保護

(1) 配線用遮断器

交流電源（AC100V、AC200V）の場合、配線するケーブルの太さに応じた配線用遮断器を設置してください。

《選定例》でじろーくん単体の場合

でじろーくんの電源容量 15VA、

100V の場合、通電電流 0.15A、

使用電線 KIV0.75Sq、

配線用遮断器 5A トリップ

(2) 漏電遮断器

交流電源（AC100V、AC200V）の場合、感度電流 30mA の漏電遮断器を設置してください。

(3) 瞬時停電用UPS

瞬時停電用UPSの設置を推奨します。

でじろーくんの電源遮断はコンピュータ同様、Pwr スイッチを押すことによりシャットダウンをおこないます。瞬時停電が発生した場合、でじろーくんの電源が切られ収集停止します。また、最悪の場合故障につながる可能性があります。

ただし、長時間停電時や電源遮断時には保護できませんので、通常のシャットダウン操作をお願いします。

後述の外部データベースサーバーを設置した場合は、併せて瞬時停電用UPSも設置してください。

《UPSによる瞬時停電接続対象》

でじろーくん、外部データベースサーバー

4. LAN 接続

(1) HUB

でじろーくんとパソコンとを有線（LAN ケーブル）で接続する際には、HUB（ハブ）を設置し、HUB 経由でネットワーク接続することを推奨します。

でじろーくん側の LAN ケーブルを抜き差しするとでじろーくん本体の再起動が必要になります。でじろーくんとパソコン 1 対 1 で常時接続する場合は HUB の必要ありませんが、都度接続をする場合は HUB を介して HUB やパソコン側で LAN ケーブルの接続を行ってください。また、複数の機器でネットワークを構成する場合も HUB が必要となります。

(2) アクセスポイント

でじろーくんとタブレットやスマートフォン等の携帯情報端末とを無線（WiFi）で接続する際には、端末の近傍に無線アクセスポイントが必要になります。

（一般的には、無線アクセスポイントは無線 LAN ルータのルータ機能をオフして使用することが可能です。商品によってはブリッジモードとかアクセスポイントモードと呼んでいるようです。無線 LAN ルータは有線 HUB の機能を持っているものがほとんどで、有線と無線を混在させるネットワーク構築には有効な機器と思われます。）

(3) インターネットとの接続について

でじろーくんをインターネットからアクセスすることは可能ですが、企業内、組織内のネットワークセキュリティ部門との確認をお願いします。

詳細は以下を参照願います。

<https://www.dejirokun.com/modules/pico/faq.html#faq5>

5. 外部データベース

(1) データベースサーバー

でじろーくんの収集データを、でじろーくん内臓の内部データベースではなく、外部のデータベースに保存する場合はデータベースサーバーを準備して、でじろーくんと常時 LAN 接続してください。

データベースの種類やテーブルの作成については以下を参照願います。

<https://www.dejirokun.com/modules/d3downloads/index.php?cid=1>